

令和7年1月30日

報道機関各位

自然保護課

五所川原市における野鳥の鳥インフルエンザウイルス簡易検査の
陽性事例を受けた緊急調査結果について

令和7年1月29日付けでお知らせしたこのことについて、環境省が指定した感染野鳥回収地点を中心とした半径10キロメートル圏内の野鳥監視重点区域において県が緊急調査を実施した結果、死亡野鳥や異常行動を示す野鳥は確認されませんでしたのでお知らせします。

記

1 緊急調査の概要

(1) 実施日

令和7年1月30日（木）

(2) 調査場所

野鳥監視重点区域（五所川原市、中泊町、つがる市のそれぞれ一部）内の湖沼や河川など渡り鳥の主要な飛来地10か所

2 今後の県の対応

- ・ 当該重点区域の指定が解除されるまで（令和7年2月25日（火）24時予定）の間、週1回の目安で監視を継続する。
- ・ 国立環境研究所（茨城県つくば市）が実施する遺伝子検査の結果は判明しだい公表する。

3 その他

現地での取材は、ウイルスの拡散や感染を防ぐため、厳に慎むようお願いします。

4 添付資料

県からのお願い（野鳥との接し方について）

報道機関用提供資料（連絡先）		
担 当 課		環境エネルギー部 自然保護課自然環境グループ 総括主幹 辻 健一郎
電話 番号	内線	6505
	直通	017-734-9257
報 道 監		環境エネルギー部 次長 山舘 清章